

第18回「女性会議」開催要項

テーマ 一人^{いちにん}に立つ ～聖教に見る性差別を考える～

「五障・三従」の文言のある『御文』の拝読は、女性を差別し、おとしめるものだという指摘が宗門に関わる女性たちからこれまで幾度もされてきました。そして第16回女性会議（2016年5月19～20日）において、『御文』で読まれる「五障・三従」や「女人」の文言について痛みを感じていることを常に提起してきたことや、この問題を信仰の課題として取り組む委員会の早急な立ち上げを切望する「要望書」が、参加者一同から解放運動推進本部長宛に提出されました。

そこで昨年の第17回女性会議では、西口順子さんに「五障・三従」「変成男子」「女人結界と女人成仏」といった問題を手がかりに、日本仏教では女性に対しどのように教えを説いてきたかを学びました。

今回の女性会議では「一人(いちにん)に立つ ～聖教に見る性差別を考える～」をテーマにし、女性がどのような存在として語られ、救済の対象となってきたのかを考えてみたいと思います。講師である平雅行さんは「罪深く障り多き女人をこそ阿弥陀仏は救おうとしている」というこれまでの教学者の解釈を「差別的救済論」と指摘しています（『親鸞とその時代』）。

『御文』は本山や別院、普通寺院の晨朝の勤行で繰り返し読みされ、その教化の影響を私たちは少なからず受けています。「罪深い」と説かれてきた女性たちの視点で聖教に向き合い、これまでの解釈にとらわれることなく、性差別からの解放を語り合いませんか。あなたの参加をお待ちしています。

- 1 期 間 2018年5月7日(月)～8日(火)
- 2 会 場 真宗本廟 研修道場
- 3 講 師 平 雅行さん(大阪大学名誉教授・京都学園大学教授)
- 4 定 員 50名 ※男女は問いません。
- 5 参加費 3,600円
- 6 日 程

5月7日(月)		5月8日(火)	
12:30	受付	6:00	起床・清掃
13:00	開会・趣旨説明	7:00	晨朝参拝
13:30	講義 I	8:00	朝食
15:50	全体座談	9:00	班別報告
17:30	夕事勤行		講義 II
18:00	夕食	10:10	全体協議
19:30	班別座談	11:30	閉会
20:30	入浴・就寝	12:00	解散
		※都合により日程を変更する場合があります。	

- 7 申込方法 住所、氏名(ふりがな)、電話番号、性別、所属教区・組・寺院、食物アレルギーの有無を記入のうえ、解放運動推進本部女性室まで、郵送・FAX・メールでお申し込みください。書類の様式は定めません。
- 8 申込締切 2018年4月20日(金) 必着
- 9 お問い合わせ 真宗大谷派 解放運動推進本部 女性室
〒600-8164 京都市下京区上柳町199
TEL:075-371-9247 / FAX:075-371-9224 / Mail:kaiho@higashihonganji.or.jp